

愛知県から亶理町へ

愛知県から亶理町へ移住してきて二年目。建部元晴（たてべ もとはる）さん（49歳）。

震災の爪痕がまだまだ残る亶理町の沿岸部の農地。場所によっては瓦礫が多く出てくる場所もあるという。

気候は、夏の暑さも程よく野菜作りには適している。土壌も砂質なので、畑の作物が根こそぎ飛ばされないよう根菜類を主に育てている。

他県から来たので、新規就農者として地元の方々に信頼してもらえるようこつこつ努力をしてきた。近隣の農地の除草をするなど少しずつ信頼してもらい、今では100アールの畑を任せてもらっている。

建部さんの一番の目標は、大規模な無農薬栽培にチャレンジすること。今までの農法と違ったやり方を試してみたい。農薬の代わりに土に入れる微生物も自家製である。除草剤も使わずどこまでできるかやってみたい。生産者、消費者、土、全てに安全なものを作ることを試している。

なぜ愛知県から亶理町で農業をやっていくと決めたのかという問いかけに「きっかけは震災復興で亶理町に仕事にきたこと。携わっていくうちに亶理町っていいなと思うようになり、すぐ家を買って亶理町で農業をやっていくことにした」と語った。

